

はまごろう小だより

～当たり前前のごことを 当たり前前にできる子に～

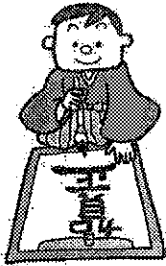
伊勢市立浜郷小学校

校長 上地明宏

平成30年1月9日(火)

第35号

新年明けましておめでとうございます！



平成30年(2018年)がスタートしました。子どもたちも元気に浜郷小へ戻ってきました。今年の干支は「戌」(いぬ)。いったいどんな年になるでしょうか。子どもたちが、健康で安全に暮らせる浜郷小であることを願います。

4月になると、新しい学年です。

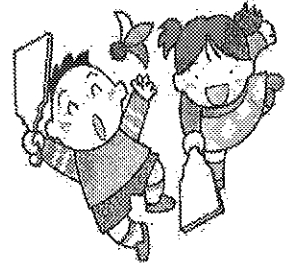
どの学年も3月まで最後の仕上げにかかります。しっかりと力をつけて、卒業・進級させたいものです。

今年も保護者や地域のみなさん方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

浜郷同推協「人権標語」投票結果！

「人権・平和・環境展」で集計したアンケートの結果、下記の作品が選ばれました。どれも心のこもったいい作品です。みなさんのご協力に感謝いたします。

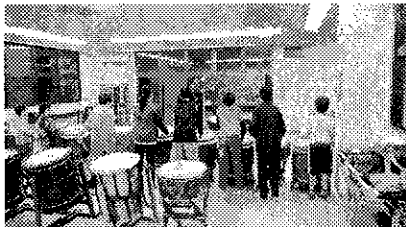
- いっしょにね あそんでくれて ありがとう 見並蒼空 (2A)
- 自分がさ 悲しむことは みんないや 磯村茉夢 (5B)
- 大切な 命があれば 何でもできる 柴田晟斗 (6A)
- ありがとう その一言が 笑顔の輪 福永彩華 (6A)



6年間がんばり続けたよ！ 和太鼓「天翔」

浜郷小に1年生のときから6年間、和太鼓を続けている子がいると聞いて、12月15日(金)の夜、練習会場にお邪魔しました。

場所は二見浦海水浴場前にある二見ミーティングセンター。団体名は、「和太鼓 伊勢天翔」、代表は下野町の高瀬さんです。



太鼓の音に誘われて、どきどきしながらドアを開けてみると、10人ほどの小学生の姿が見えます。神社小、東大淀小、四郷小、二見浦小に混じって、浜郷小6年の中村 楓さん、中村 颯さんが元気に太鼓をたたいていました。



二人に聞くと、伊勢まつり、大学駅伝沿道応援、おんべ鯛献送迎まつりなど、活躍の場がたくさんあるようです。港中に進学後は、楓さんは野球部に、颯さんは野球かテニス部に入部する予定です。しかし部活動と並行して、二人は和太鼓を続けるつもりです。それだけ和太鼓の魅力は大きいようです。

あとわずかで卒業です。二人の今後の健闘を心より祈ります。

ペルー体験記 第55話

「実録・ペルー大使公邸事件⑤」

浜郷小学校 上地明宏

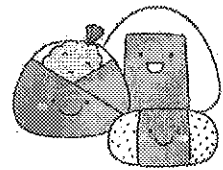
さて、前回の続き。大使公邸内のレポートです。

⑦ラジオ体操

人質のみなさんは、毎朝7時には欠かさずラジオ体操をしていました。人質生活は運動不足になるとは言え、これは国民性かもしれません。

⑧最初の差し入れ

事件後、外部から食料の差し入れがありました。おにぎりや飲み物が回されてくると、日本人はまずみんなが先だと、奥へ奥へと食料を順に送っていきましました。これは日本人の美徳です。しかし、気がつく日本人の分がありません。ペルー人たちがひとりで何人分もの食料を抱え込んでいたのです。



これも国民性？ 苦笑しながら返してもらったそうです。(笑)

⑨サッカー大会

将棋教室と同じように、若いテロリストが退屈して室内でサッカーを始めました。

⑩食事

テロリストたちは、日本レストランからの配達を許可していました。自分たちもお腹が空きますから。きっと日本食通になったことでしょう。

⑪無線機器

テロリストにわからないように、食事の中に無線機が仕込まれていました。大使館員やペルー政府要人は、これを使って外部と交信し、内部情報を伝えたり、特殊部隊の突入について協議したりしていました。

⑫失策

事件の翌日、テロリストは高齢者と女性をすべて解放しました。600人もの人質を管理できないという理由もありますが、基本的にカトリックは高齢者や女性には優しいのです。ところがこの中に、フジモリ大統領の母親が紛れ込んでいたのです。もし知っていたら、交渉材料に使われていたでしょう。テロリストの大きな失策でした。

⑬教え子

事件当夜、外務省に状況を説明したのは、わたしが担任している子ども(小6)でした。大使館員は人質になり、外務省は何が起こったのかわからずパニックに陥っていたのです。父親は書記官です。カエルの子はカエル。しっかり者の少女でした。

<在ペルー日本大使公邸事件>

96年12月17日発生～97年4月22日終結。ペルーのテロ組織 MRTA 14名が在ペルー日本大使公邸を重火器にて襲撃し、ペルー政府要人、日本大使館職員、日本企業職員、日本人学校教員、日系ペルー人等600名以上を人質にした未曾有の大事件。

※年が明けると、日本の小中学校から手紙が届くようになりました。

「そちらは大変なようですね。どんな様子か教えてください！」

大半がこういう興味本位の内容でした。きっと総合の時間に書いたのですが、担当教師の指導と見識が問われます。父親が人質になっている子どもに聞く内容ではありません。

わたしは全部そっと処分しました。